

2024年度聖望学園中学校・高等学校 学校評価

	評価項目	自己評価	達成度	学校関係者評価	第三者評価
1	基本統計 ・学校要覧の発行状況 ・基本統計管理の状況	<p>・学校要覧は、予定通り10月に発行できた。</p> <p>・基本統計の管理は、<u>教務</u>においてスクールエイドにて調査書、指導要録の管理を行い、不備なく管理ができた。<u>生徒部</u>において、指導記録を学年ごとに集計できた。<u>募集広報部</u>においては、過去20ヶ年間の入試データの蓄積ができた。それを有効に活用することができた。</p>	B	<p>・学校要覧が予定通りに発行できたことを評価する。</p> <p>・基本統計の管理が不備なく行えたことを評価する。</p> <p>・募集広報部において、20ヶ年間の入試データ蓄積ができたことを評価する。</p>	<p>・学校要覧を予定通り発行できたことを評価します。</p> <p>・基本統計の管理も着実におこなわれています。また、入試データが蓄積され有効に活用されていることを高く評価します。</p>
2	中期・単年経営計画 ・生徒募集状況 ・教員研修状況 ・5Sの状況 ・CO ₂ 削減状況 ・キャリア教育の状況	<p>・生徒募集の結果は中学54名(定員80名)、高校290名(定員300名)の新入生が決定した。中学校および高等学校で定員が確保できなかった。</p> <p>3年目を迎えた高校の通信制課程では9名の新入生が決定した。</p> <p>中学校では適性検査試験を実施が11年目となり受験人数は安定している(応募者は多いが、入学者数の増加にはつながらなかった)。</p> <p>高等学校では6年連続で定員を確保できなかった。併願者の歩留まりが低い状況があり、定員を満たすには、単願者の増加が課題である。</p> <p>・教員研修は、進路指導では例年多くの教員が、予備校などの主催の研修会に参加し、大学受験指導に向けての知識を吸収し、各教科の教員のレベルアップを図っている。しかしながら、ここ3年くらいはコロナ禍の影響で研修への参加が減ってきていたが今年度より徐々に戻りつつある。また、研修自体もオンライン形態のものも増加しておりそちらへの参加は増加している。生徒指導、生徒募集の研修に関してはそれぞれの担当教員が研修を受けているが、一般教員への啓蒙の課題がある。また、ICT教育に関する機器使用方法や授業展開についての新任教員の研修の充実が望まれる。</p> <p>・CO₂の削減については、ゴミの分別を行い、トイレの電燈の自動消灯化などが取り入れられている。さらに、電灯のLED化が完了した。</p> <p>・キャリア教育は進路指導部内のキャリア部門の指導計画を立てている。高校3年生では、模擬面接を実施した。</p>	B	<p>・生徒募集においては、定員確保のために、SNSの活用等、引き続き様々なことに取り組んでいただきたい。</p> <p>・教員研修については、研修への参加を今年度も増やしていただき、新任教員への研修の充実にも引き続き取り組んでいただきたい。</p> <p>・ゴミの分別、電灯の自動消灯化やLED化を評価する。</p>	<p>・中学・高校ともに定員確保にいたりませんでしたが、中学・高校ともに2023年度より入学者数を増やすことができていることを評価いたします。小学生・中学生の保護者を対象とした有効な広報のあり方を検討し、定員確保に繋がっていただくことを期待いたします。</p> <p>・また高校通信制課程においても2023年度より入学者が増えたことを評価いたします。より一層、広報が充実する中で入学希望者が増えるものと期待いたします。</p> <p>・教員各位の研修参加について評価いたします。教員研修は教育機関全体のレベルアップのために必要なことではありますが、本来大切なのは生徒と向き合う時間の確保です。オンライン研修も増加しているとのことで、教員各位の負担(感)を増やさないようにし、教育業務との間でバランスをとりながら効率的に実施していただくことを期待いたします。</p> <p>・CO₂削減のために具体的な取り組みがなされていることは評価します。</p> <p>・キャリア教育が着実に進められていることを評価します。</p>
3	組織運営 ・責任体制の整備状況 ・経理状況 ・情報管理状況(個人情報を含む)	<p>・責任体制の整備状況では、各分掌で部長、委員長を中心に分担が明確化され、責任の所在を顕在化させている。</p> <p>・生徒会会計など管理体制は十分に行われている。</p> <p>・個人情報などの情報管理は、教務部が学校共有PC内の共有ファイルの整理をして、情報管理を行っている。</p> <p>・個人情報の学校外の持ち出しは禁止。答案用紙の持ち出しは、管理職の許可のもとに紛失を未然に防いでいる。</p>	B	<p>・責任体制、管理体制等については適正に行われていることを評価する。</p>	<p>・責任体制、経理状況などは適切に管理運営されていると評価します。</p> <p>・個人情報の管理については今後も慎重な取り組みを継続していただきたいと思います。</p>
4	施設・設備 ・施設、設備の活用と整備の状況 ・施設、設備の点検状況	<p>・環境管理部を中心に、清掃状況の確認や教室備品の整備などが組織的に行われている。</p> <p>年度初めの下足箱、机、椅子の整備は、組織的に行われスムーズに行われた。施錠できる蓋つきの個人ロッカーの設置が高校の約2/3の教室に設置された。</p> <p>情報図書においては、既存の映像設備の点検、整備も定期的に行われた。多くの利用に役立っている。大型教室における映像機器の利用状況は良好、十分活用されている。また、体育館は空調完備のため、快適な環境での教育活動が実施されている。</p> <p>・トイレの改修工事が校内の7割ほど進んでいる。生徒及び教職員、来校者への快適な生活に寄与している。綺麗なままでの使用の啓蒙が必要である。</p> <p>・ICT教育に関しては中学生高校ともに全学年にiPadを貸出し、教師生徒の双方向の授業展開を実践している。将来を見据えて、全てのHR教室への電子黒板の設置及び校内LAN</p>	A	<p>・生徒たちが快適な環境で教育を受けることができるように、環境美化、教育設備の拡充、施設や施設備品の修繕、維持等に引き続き取り組んでいただきたい。</p>	<p>・施設、設備の管理については適切に運営されていると評価します。特に夏期の高温化に伴い、空調整備の充実が生徒の安心・安全な学習環境を整える意味でも重要なことだと思います。引き続き、適切な施設、設備の点検・改修等に努めていただくことを期待します。</p> <p>・中学校高校でのiPad貸出しや校内のWi-fi環境整備等、ICT教育の推進に努めておられることを高く評価します。機器の点検、改修、交換等も継続的な課題かと思っておりますので、適宜、適切な対応を期待します。</p>

		のWi-Fi環境が整った。設置年度の早い機器(特にプロジェクター)の点検・交換等が必要なものもある。今後の課題である。			
5	宗教教育 ・宗教教育の状況 ・宗教的諸活動の状況	・宗教委員会では、生徒と教師ともにキリスト教に触れる機会を与えることを念頭に置いて活動している。 ・一昨年度まではコロナ禍により礼拝堂で一堂に会しての礼拝ができなかったが、昨年度より通常の学年全体での礼拝をおこなうようになった。キリスト教強調週間、クリスマス礼拝ではゲストを招いての特別礼拝が実施できた。	A	・キリスト教に触れる機会を今後も増やしていただき、生徒たちへのキリスト教への興味や関心を伸ばしていただきたい。	・学校の教育の基礎なるキリスト教の考え方に触れる機会がコロナ禍を経て通常に戻っていることは高く評価できます。また、ゲストを招いての特別礼拝等、新たな取り組みについても評価いたします。地域では数少ないキリスト教主義に基づく教育を実践する学校として、特性に基づいた教育を伸ばしていけることを期待します。
6	教育課程・学習状況 ・教育課程の実施状況 ・学習指導の状況 ・成績の状況 ・ICT機器を活用した授業の普及	・教務部は、シラバスを予定通り4月に発行することができた。各教科はシラバスに沿って授業を展開している。学習の評価・評定の検証や見直しを図った。高校が新たなコース制(1年次は2コース制、2・3年次は3コース制)が3年目となり、コース制に即した学習指導を検証し、いかに次年度年度に繋げていくのが課題である。 ・中学生と高校生全員に一人一台iPadを貸与し、電子黒板を利用した双方向授業の展開およびiPadへの課題の配信など、ICT教育の実践を図っている。 ・今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う休校や学級閉鎖がほとんどなかったが、一部学級閉鎖等もあり、その際、iPadを介した遠隔授業を対象クラスの生徒に実施できた。これは、生徒の学びを止めることなく学習の機会を与えることができ大いに評価できることである。また、怪我等で登校できない生徒への遠隔授業にも利用されている。 突発的な休校等にも対応でき、新たな学びの形となりうるものであり、更なる有益な活用が見込める。	A	・シラバスを予定通り発行できたことを評価する。 ・生徒たち全員に、一人一台iPadを貸与し、ICT教育の実践を図っていることを評価する。 ・引き続き、ICT教育の拡充に努めていただき、更なる有効活用に取り組んでいただきたい。	・シラバスを予定通りに発行し、これに基づいた授業を展開されていることを高く評価します。コース制に即した学習指導を検証し、各コースの特性と生徒の適性に合わせた、効率的かつ柔軟な学習指導が展開されることを期待します。 ・iPadの貸与等を基礎としたICT教育の推進に注力され、突発的な臨時休校等にも対応できる基盤を作られておられることは学習機会の担保の意味からも大変意義のあることと評価いたします。更なる有効活用を工夫していただくことを期待します。
7	部活・行事 ・部活動の状況 ・行事の実施状況	・部活動ではその活動の状況を学校HPで公表しているが、全体的な充実度が高いとは言えない。最新の活動状況の更新も含め更なる充実を図りたい。 ・国際交流委員会では、サマースクールプログラム(カナダ)が最小催行人数に満たず実施できなかった。また、ニュージーランドターム留学には4名の生徒が参加した。 留学生の受け入れは、6月～7月に1名(米国)、12月～1月に1名(豪州)であった。	B	・部活動、海外留学に関して、更なる充実と参加者の増加を期待したい。	・課外活動の内容発信も受験生に訴求力のある情報だと思います。運動部、文化部双方で実績をあげている部、ユニークな活動をされている部がありますので、定期的な情報発信を期待します。 ・国際交流プログラムが展開されてことを高く評価いたします。為替や諸外国の物価高騰により、参加生徒の経済的負担が大きくなっているのではないかと拝察いたします。より多く参加者を安定的に集める観点から、経済的負担が軽い地域・国との交流等の新規開拓についてもご検討いただくことを期待します。
8	生徒指導・カウンセリング ・生徒指導体制の状況 ・カウンセリング活動の状況	・生徒指導は、生徒指導委員会が作成したマニュアルに沿ってどの教員でも同じ指導ができる体制は整えた。しかし、SNS指導と交通マナーを保健体育の授業に反映させることが課題である。 ・教育相談委員会は、きめ細かい相談の対応となっている。カウンセラーの相談体制は月火水の3日間である。カウンセラーも含め定期的な委員会を開催し、生徒個々へのきめ細かい対応を目指している。 ・校内に、適応指導教室が設置された。様々な理由で教室に入れない生徒に対し、教室復帰を目的として、生徒の自立支援を組織的に行うことができるようになった。	A	・昨今の様々な生徒の状況を踏まえたうえで、きめ細やかな生徒指導に取り組んでいただきたい。	・生徒指導においてきめ細やかな対応をされていること、生徒指導マニュアルを作って体制を整えておられることを高く評価します。 ・カウンセラーの増員等、生徒個々へのきめ細やかな対応を目指されていることを高く評価します。 ・適応指導教室を設置され、生徒個々のさまざまな事情にあわせ、生徒の自立支援を組織的に行われていることを高く評価します。
9	進路指導 ・進路指導体制の状況 ・進路結果	・進路指導は、進路指導体制が確立している。生徒の進路意識をいかに高め、実践させていくかが課題である。 ・進路結果については、例年より上昇しているが、目標から考えると満足な結果とは言えない。	B	・生徒たちひとりひとりが目標や目的意識を持って進路を決めていくことができるように、引き続き取り組んでいただきたい。	・進路指導体制の確立について高く評価します。 ・生徒個々の志向や特性、興味関心に即した進学、進路選択ができる細やかな指導を継続していただくことを期待します。
10	安全管理 ・学校安全計画の状況 ・危機管理マニュアルの	・安全管理については、防災総合訓練を行った。 ・危機管理マニュアルの作成と配布も予定通り行われた。 ・デジタルなまが導入し、緊急地震速報が校内の全員に連絡でき、早期の地震に対する	B	・引き続き安全管理、危機管理に取り組んでいただきたい。	・安全管理、危機管理ともに適切に実施・運用されていることを高く評価します。 ・地震だけでなく、気候変動に伴う集中的な豪雨なども頻発していますので、

	作成、活用状況 ・学校防災計画の作成、 実施状況	構え、避難ができた。火元責任者掲示と巡回を行った。			天候急変時の通学時、学校生活時、下校時の生徒の安全確保等についてもご検討いただくことを期待します。
11	保健管理 ・学校保健計画の作成、 実施状況 ・健康診断の実施状況	・養護教諭により、学校保健計画、健康診断の実施は適切に行われた。	A	・学校保健計画、健康診断の実施が適切に行われたことを評価する。	・学校保健計画、健康診断の実施等、適切に運用されているものと評価します。
12	特別支援教育 ・特別支援生徒への対応 状況	・教育相談委員会を中心に、相談等を実施した。個別相談が増加している。 配慮が必要な生徒への対応について、講師を迎え、研修会を開き教員への意識を高めることができた。今後もより実践的な対応力が望まれる。 ・学内に「適応指導教室」を設置し、教室に入れない生徒への対応を始めている。まだ課題はあるが、不登校対策として、進級、卒業へとつながっていった。より組織的な運営と通室生徒への支援体制が課題と思われる。	B	・個別相談が必要な生徒や、配慮が必要な生徒に対して、適切な対応ができるように、引き続き取り組んでいただきたい。	・個別相談等に細やかに対応していることを評価します。 ・適応指導教室の設置を高く評価します。今後も生徒個々人の特性・課題にあわせた適応支援・適応指導を期待します。
13	保護者・同窓生との連携 ・保護者会の状況 ・地区集会の状況 ・同窓会との連携状況	・各学年ごとに保護者会を行い、必要な情報提供や意見交換が行われていた。今年度は、オンラインではなく学校での保護者会が開催できた。 ・今年度より PTA、後援会の組織が変わり、後援会組織の中の地区委員の選出が行われなくなったため昨年度まで実施していた後援会主催の地区集会は行われなくなった。PTA も各クラスごとに役員選出をやめ、PTA と後援会の本部役員が中心となって行事ごとに参加者を募集する方式で行事を実施した。(校内清掃ボランティア、保護者のための大学日帰りバスツアー、文化祭出店、クリスマスリース講習会 等を実施。) ・同窓会に学校での現状を報告し、例年施設・部活動見学会も実施している。同窓会より、学業や部活において一定の評価を得た生徒に対し、奨励賞が贈られている。	B	・保護者と学校の関わり方が変化していくなかで、学校と保護者の関係性が生徒たちのためにも良い影響を与えるようなものになるように、引き続き取り組んでいただきたい。 ・同窓会より、学業や部活において一定の評価を得た生徒に対して奨励賞が贈られていることを評価する。	・保護者・同窓生との連携が適切に実施されていることを評価します。 ・PTA、後援会組織を改変し、各組織役員の業務負担の軽減をはかられていることを評価いたします。あわせて、各組織及び各組織構成者と学校の関係性が薄くならないようにご配慮をお願いいたします。
	総合評価		B	・各課題に真摯に取り組まれていることを評価する。 ・少子化の時代において、入学者数を増やしていくためにも、他の学校にはない特色の更なる充実を期待したい。 ・質の高い学校生活を生徒たちが送れるように、引き続き様々な課題に取り組んでいただきたい。	・各項目の改善に大変真摯に取り組まれていることを高く評価いたします。 ・聖望学園中学校高等学校は地域に根ざした、歴史と伝統、実績のある教育機関です。教科教育等の教育活動だけでなく、運動部、文化部双方での課外活動、国際交流等について充実がはかられており、教職員各位のご尽力に心より敬意を表します。 ・国際交流事業に際して、日本の経済状況、国際状況が変化している中、新たな交流先の開拓も必要かと存じます。グローバル人材育成の観点からも、ご検討いただければ幸いです。 (駿河台大学においては、コロナ禍後、英語圏ではフィリピン中央大学での海外語学研修参加者が多くなっております。) ・生徒の多様化が進む中、特別支援教育や個別相談、適応支援・指導に注力され、生徒個々にあわせた支援体制を強化されていることを高く評価いたします。今後も生徒一人一人と向き合いながらきめ細やかな指導を深化されることを期待します。